

◎「ワールドカップ出場権獲得」「アジアNo.1の座」をかけた戦い

今回の男子ソフトボールアジアカップ(第11回男子アジアカップ・第1回男子U23アジアカップ)は、今年開催される男子ソフトボールワールドカップ(第17回男子ワールドカップ・第1回男子U23ワールドカップ)のアジア地区予選を兼ねて開催される。

9月1日(木)・2日(金)の両日開催される「第1回男子U23アジアカップ」には、日本をはじめ、シンガポール、インドの3チームが出場。2回総当たり戦で順位を決定する試合方式により覇が競われ、上位2チームに「WBSC第1回男子U23ワールドカップ」(※大会期日:10月22日～30日/アルゼンチン・パラナで開催)への出場権が与えられる。

9月3日(土)～6日(火)の4日間にわたり開催される「第11回男子アジアカップ」には、日本をはじめ、シンガポール、インド、フィリピン、香港、タイ、チャイニーズ・タイペイの7チームが出場。こちらは予選ラウンド+プレーオフ(順位決定戦)の試合方式により覇が競われ、同じく上位2チームに「WBSC第17回男子ワールドカップ」(※大会期日:11月26日～12月4日/ニュージーランド・オークランドで開催)への出場権が与えられることとなる。

「男子アジアカップ」においては、このところ日本が「圧倒的強さ」を誇り、大会6連覇を継続中。2018年に開催された前回大会には、その対象カテゴリーである男子TOP日本代表ではなく、あえて大学選抜チームを日本代表として派遣。予選リーグから負けなし、10戦全勝という文句なしの戦いぶりアジアの頂点に立った。

新設されたU23カテゴリーの記念すべき「第1回大会制覇」をめざす男子U23日本代表は、TOPチームの「弟分的な」位置づけでもあることから、次代の日本男子ソフトボールを担う若い力・新たなスターの出現に期待が高まる。

男子アジアカップの日本開催は1985年の第3回大会(静岡県静岡市)、2006年の第8回大会(福岡県北九州市)、2012年の第9回大会(岡山県新見市)に続き4度目(※第1回～第10回大会までアジア男子選手権大会と呼称)となる。

